

誰もが
自分らしく

暮らしに希望をもてる社会に

日本共産党 江東区議会議員候補

4月23日
投票

大つきかおり



大軍拡
増税
NO!



自民・公明による自己責任、経済効率優先の政治が将来への不安を広げています。「安心して子育てしたい」「介護や医療の負担を減らしてほしい」など寄せられる声は切実です。

私は、18歳までの子ども医療費無料化や潮見駅・辰巳駅へのエレベーター設置、特別養護老人ホームの増設など、住民の皆さんと力を合わせて実現してきました。

区民の暮らしを守る区政の役割をしっかりと果たすことができるよう引き続き頑張ります。

プロフィール：1967年板橋区生まれ。都立北園高校、國學院大学卒。区内民間企業を経て27歳で立候補・初当選。区議7期。区議団幹事長。企画総務委員会、清掃港湾・臨海部対策特別委員会委員。江東区文化コミュニティ財団評議委員。枝川一丁目在住。家族は夫

声をあげれば政治は変わる

みなさんと一緒に実現しました

子ども医療費18歳まで無料に

区民運動と結んだ日本共産党区議団の条例提案をきっかけに、1993年から子どもの医療費無料化がスタート。その後繰り返しの提案で、中学3年生まで拡大させました。さらに2014年には、18歳まで対象年齢を拡大する条例を提案。自民・公明の反対で否決されましたが、粘り強く提案を続けてきたことが、都政と区政を動かしました。

公有地活用で

認可保育園、特養ホーム増設

待機児童が、毎年1000人を超える中、「国・公有地などを」と一貫して要求。その結果、公有地の活用による認可保育園の整備が進み、2012年～22年で8園、定員785人分を増設させました。

また公有地を活用し、区内16番目の特別養護老人ホームが令和7年度に開設されることになりました。

補聴器支給事業が拡充へ

2019年6月議会で共産党が補聴器支給制度の周知を求めたことがきっかけとなり、年間400件だった申請が800件へと倍増。高齢者からは、現物支給に加え、現金助成を求める声寄せられました。区内の高齢者団体と一緒に、区に申し入れを行う中で、2021年4月から上限3万円の購入費用の補助が実現しました。

税金による飲み食いストップ

費用弁償廃止へ

幹事長会や広報委員会では、出席者に対し、弁当が支給されていました。日本共産党区議団が「税金による飲み食いは止めるべき」と議長に申し入れたことがきっかけとなり2019年度から廃止されました。また、自民党の反対で実現出来なかった費用弁償の廃止も「議会制度のあり方検討会」で粘り強く議論する中、ようやく2023年度から廃止させることが出来ました。

日本共産党

江東区議会議員選挙届出ビラ

頒布責任者／猪又武夫 江東区東陽町2-3-5-203
印刷者／榎きかんし 江東区辰巳2-8-21

証紙